

小情報共有

1枚 (非管理X2)
7/17 10:10 FAX

東京電力株式会社

官邸班, NISA班 ← 追加した []

手許資料

7/17 福島地域支援室における9時定例レク概要をお知らせします。

7/17 (日) 9時定例レク概要

【説明内容】

- ①プラント関連パラメータ (7月17日 6:00現在) 【口頭説明】
- ②プラント状況・本日の作業予定等について 【口頭説明】

- <1号機>
 - 窒素封入について
 - R/Bカバー設置工事について
 - ・クローラクレーン走行用道路整備と建屋廻りのGLの確認作業を実施予定
 - SF6代替冷却設備について
- <2号機>
 - 窒素封入について
 - プロセス主建屋へのたまり水移送について
- <3号機>
 - 窒素封入について
 - T/B屋根の補修作業について
 - プロセス主建屋へのたまり水移送について
- <4号機>
 - SF6代替冷却設備について
 - SF6底部支持構造物設置工事について (本日予定なし)
- <6号機>
 - 仮設タンクからメガフロートへの移送について (本日予定なし)
- <各号機T/B地下階、トレンチ立坑水位について>
- <集中廃棄物処理建屋水位について>
 - プロセス主建屋
 - 雑固体廃棄物減容処理建屋
- <その他>
 - 電源対策について
 - ・復旧は双葉線より受電予定
 - 水処理装置について
 - ・本日ベッセル交換予定なし
 - ・本日は1日継続運転予定
 - リモートコントロール重機によるガレキ撤去について
 - 港湾関連施設の改修工事について (本日は予定なし)
 - 大型タンク設置作業について
 - 台風接近の影響を考慮して、海廻りの作業未実施予定

【主な質疑】

- Q. 想定される台風の影響は。
- A. 明確な影響は言えないが、対策はしている。
仮設のものが強風で飛ばされないよう固定したり、外部から水が入り込まないように扉の開放防止に土嚢を積んだり、隙間を埋める等の対応をしている。

以上

情報共有 1枚 (非管理メモ)

東電力株式会社

宮印班, NISA班 ← プレス対応チーム

7/17 (日) 福島地域支援室12時臨時レク概要

【説明内容】

① 2F-1 RHR一時停止について【口頭説明】

- ・ RCW起動により、FPCが可能になる。それに伴い、炉とSFPの冷却系統を別々にする。その作業を行うために、RHRを一時停止。(9:36)
- ・ この停止に合わせて、仮設ケーブルのルート替えも行う。
- ・ これらの作業により、約5時間程度の停止を予定。(15:00頃、復旧を目途)
- ・ RHR停止中は、炉およびSFPを冷却できないため、温度が上昇する見込み。
作業開始前温度と、5時間後予想温度は、

原子炉水 26.9℃→約44℃

SFP水 28.0℃→約30℃

② 1F-1原子炉注水量低下について【口頭説明】

- ・ 9:46 炉注水量が3.0m³/hに減少、警報発生。
- ・ 10:06 炉注水量を調整し、3.8m³/hに変更。注水自体は、継続して実施中。
- ・ 1uと2uの炉注水は、1台のポンプで実施。
- ・ 2u・3uの警報設定値は、いずれも4.0m³/h。但し、2uはパイパスにより、除外している。

【主な質疑】

Q. 1F-1流水量低下の警報が鳴った時間を、もう一度教えてほしい。

A. 9:46に警報発生。

<質疑は、上記1つだけでした。>

以上

7/17 福島地域支援室における15時定例レク概要をお知らせします。

7/17 (日) 15時定例レク概要

<説明内容>

①「福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ(7月17日 午前10時現在)」
【資料配付】

②本日の作業状況について【口頭説明】

○夜ノ森線から双葉線への切替作業について

・切替作業終了し、13:20双葉線2L(66kV)から受電

・D/G2台停止し全て外部電源から受電

(5号機BD/G14:14停止、6号機BD/G14:34停止)

○原子炉への注水について

・従来、1号機用注水ポンプより1、2号機への注水を実施していたところ、

2号機用ポンプからの注水へ変更(切替)

・注水量を1、2号機共に4m³/hへ増量(合計8m³/h)

(安定した運転ができていないため)

・注水量については、流量調整弁にて手動で操作

・今後、流量が下がれば再度手動にて調整する

○2F-1RHRの一時停止について

・9:36停止(炉注水が停止)

・11:04FPC系起動

・11:13RHR系起動(冷却開始)

・原子炉温度上昇は、26.9℃→39℃

(想定は44℃であったが、作業時間が短かったため)

○水処理量について

・高レベル廃液処理量:本日10時現在、約22,510トン

・淡水化装置処理量:本日8時現在、約7,700トン

③プラント関連パラメータ(7月17日 12:00現在)【口頭説明】

<主な質疑>

Q. 台風対策について分かる範囲で詳細を教えてください。

A. ・風対策では、仮設での設置設備への倒壊防止のための縛り付けや重し置き等の

対策を実施する。

・雨対策では、建屋への流水防止のため、扉やシャッター周りに土嚢を設置する。

・天井の対策では、3号機T/B天井の穴への土嚢設置や大きな穴の流入防止対策も実施する。

・海周りでは、津波により損傷した設備へのテトラポットの設置等の対策を実施する。

・クレーン関係は、風速10m以上で作業を中止する。

・1号機建屋カバー設置工事関係は、風速30m以上でクローラークレーンの

アームを下ろし待機する。

・簡易休憩所は、ワイヤーでの固定を実施する。

・マンホールの閉まり具合を確認する。

・遠隔カメラ等は風で倒れないように固定、補強を実施する。

Q. 屋根の穴の塞ぎは何号機。

A. 3号機T/B。クレーンで持ち上げて土嚢等設置する。

Q. 台風が近づいてきた場合、作業は中止するのか。

A. 屋外の作業は風雨の強さにもよるが、中止せざるを得ない。

屋内の水処理や点検作業等は継続することになる。

以上

情報共有

7/17 22:00 F.I.K

東京電力株式会社
手許資料

2枚 (非管理用)

7/17 福島地域支援室における20時定例レク概要をお知らせします。

宮部 暁, NISHIZUMI

←アミ文庫中心

7/17 (日) 20時定例レク概要 (20:15~)
※県農林水産部のレクにより時間変更

【説明内容】

- ① 福島第一原子力発電所 プラント状況等のお知らせ
(7月17日 午後3時現在) 【資料配布】
- ② 福島第二原子力発電所 プラント状況等のお知らせ
(7月17日 午後3時現在) 【資料配布】
- ③ 福島第一原子力発電所敷地内における空気中の放射線物質の核種分析の結果について (第百十四報)
 - ・ 福島第一原子力発電所付近の海水からの放射線物質の検出について (第百十六報)
 - ・ 福島第一原子力発電所取水口付近で採取した海水中に含まれる放射線物質の核種分析の結果について (7月16日採取分)
 - ・ 集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果
- ④ 福島第一 3号機 雨水対策の屋根風景 【資料配付】 (幹事社を通じて電子データを配付)
- ⑤ 福島第一原子力発電所の状況について 【資料配布】
- ⑥ 本日の作業状況、明日の作業予定について
 - 2F冷却材浄化系について
 - ・ 補機冷却系の起動により冷却材浄化系も復活した。
 - ・ 2F1~4全てで復帰したことになり、冷温停止状態ではあるが、機能が追加され信頼度が上がった。
 - 1F-3T/B屋上の穴の雨水対策について (明日の作業)
 - ・ 開口部が11m×14mの穴に、縦5m×横16m×厚さ30cmの鋼鉄製の鉄板を3枚設置し穴を塞ぐ。重量は約20トン。
 - ・ 屋根の雰囲気線量が20mSv/hで高いため基本的にクローラークレーンによる遠隔操作で実施。
 - 炉注水ポンプ切替について
 - ・ 1号機のポンプから1, 2号機を注水していたが、2号機のポンプからの注水へ切替。共に4m3/hずつで合計8m3/h注水。(3号機は9m3/h)
 - 水処理について
 - ・ 運転継続中、明日ベッセル3個取替予定。
- <水位>
 - 1~4号機T/B地下階水位について
 - 1~3号機トレンチ立坑水位について
 - 1号機R/B地下階水位について
 - プロセス主建屋水位について
 - 雑固体廃棄物減容処理建屋について
- <1号機>
 - R/Bカバー設置工事について
 - 窒素封入について
 - OSFP代替冷却設備について
- <2号機>
 - 窒素封入について
 - OSFP温度17時現在37℃
 - プロセス主建屋へのたまり水移送について
- <3号機>
 - 窒素封入について
 - プロセス主建屋へのたまり水移送について
 - T/B屋根補修作業について
- <4号機>
 - OSFP代替冷却設備について
 - OSFP底部支持構造物設置工事について
- <6号機>
 - 仮設タンクからメガフロートへの移送について
 - ・ 明日は予定なし
- <その他>
 - 港湾関連施設の改修工事について
 - ・ 明日は、台風の影響により障害物撤去、テトラポット設置作業は中止
 - 防潮堤の設置について
 - ・ 遮水シートを敷き塗装作業終了、明日現場最終確認実施

8

○大型タンク設置作業について

・本日100m³×6基設置、明日も継続予定

【主な質疑】

Q. ルーフドレンは使用できないとのことだが建屋へ流入した水はどうするのか。

A. 使用できるルーフドレンもあるためそこから流す。

Q. 防潮堤の高さは。

A. 高さ2.4～4.2m、幅4.8～9.6m。

Q. 海拔いくつの所へ設置するのか。

A. 10mの所。

以上